

R7年度外国人県民アンケート及び多文化共生・共創推進アンケートの実施結果

■調査の目的

県内在住の外国人及び日本人を対象に、在住外国人の実態や多文化共生に関する意識を把握し、その結果を次期群馬県多文化共生・共創推進基本計画（R9～13）及び関連施策に反映させる。

共通事項

調査方法

郵送配布、郵送回収およびインターネット回収

調査期間

R8.2.4～2.20

調査地域

群馬県内14市町村

（前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、藤岡市、富岡市、中之条町、草津町、昭和村、玉村町、大泉町）

外国人県民アンケート

対象者 満18歳以上の外国人（国籍は問わない）

配布数 1,600件 有効回答数 461件

調査内容（8分野・40問）

- ① 回答者情報 ② 日本での住み方 ③ 日本人との交流
- ④ 日本語 ⑤ 子どもの教育 ⑥ 通院時
- ⑦ 災害 ⑧ 保険・年金

多文化共生・共創推進アンケート （日本人県民アンケート）

対象者 満18歳以上の日本人

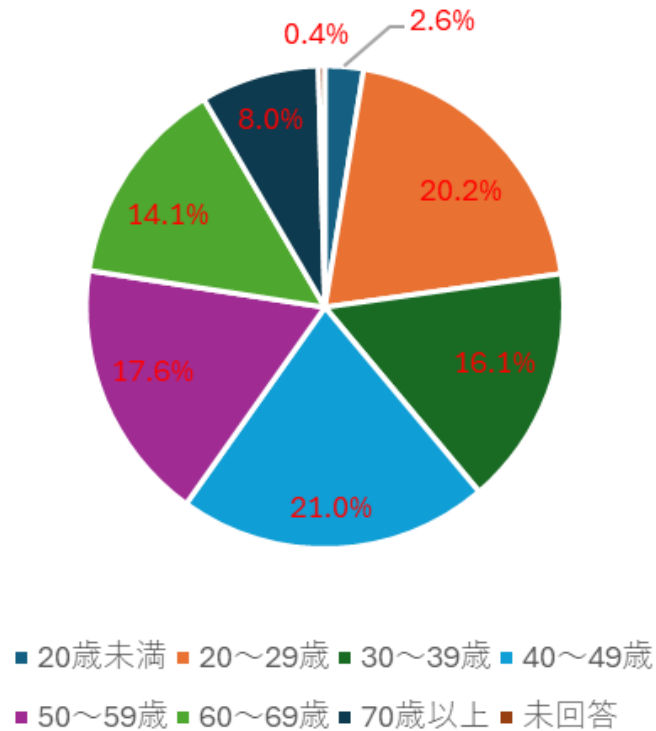
配布数 1,000件 有効回答数 319件

調査内容（3分野・26問）

- ① 回答者情報 ② 外国人県民との付き合い
- ③ 日本語教育

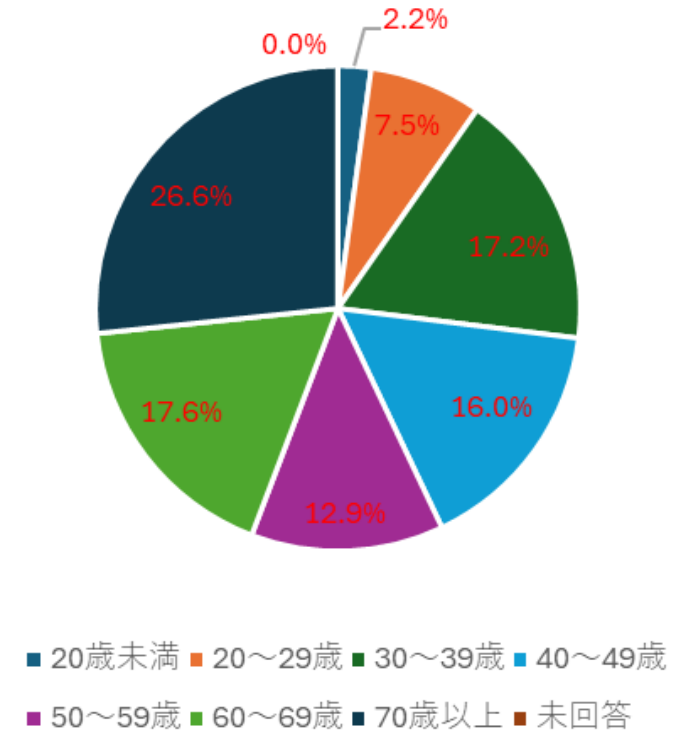
年齢分布

外国人県民アンケート



20～49歳までの若い世代が比較的多い

多文化共生・共創推進アンケート



60～70歳以上の高齢世代が比較的多い

2つのアンケートから

外国人県民

- 日本人と**親しく付き合う外国人の増加**
親しく付き合っている 17.8%⇒30.2% (+12.4)
- 日本人との**交流が日常化**
たくさん交流したい・少しだけ交流すればいい 90.7%⇒94.8% (+4.1)
- 日本語能力の向上
日本語の会話に困る 51.6%⇒28.0% (△23.6)
- 差別を感じる外国人の減少
差別されたことがない 44.9%⇒75.7% (+30.8)

日本人県民

- 外国人との接触機会の増加
よく顔を合わせる 24.9%⇒47.3% (+22.4)
- 外国人と**関わりを望まない人の増加**
あまり関わらないようにしたい・関心がない 35.2%⇒46.7% (+11.5)
- 外国人増加への**否定的イメージの拡大**
治安・風紀が乱れる 37.0%⇒72.4% (+35.4)
- 相互理解ではなく**秩序維持や適応重視**
地域ルールを守ってほしい 88.7%⇒94.0% (+5.3)
母国語を教えてほしい 16.5%⇒6.0% (△10.5)

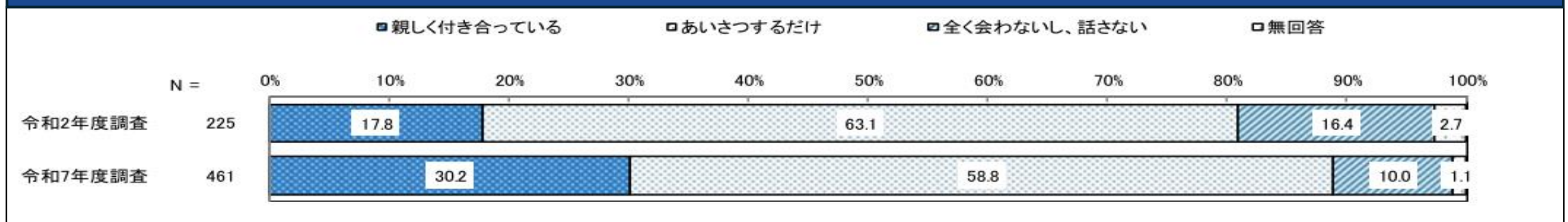
➤ 外国人との共生は**日常生活レベルでは一定程度進展**しているものの、**心理的距離は拡大**しつつある。

外国人県民アンケート結果 日本人との交流

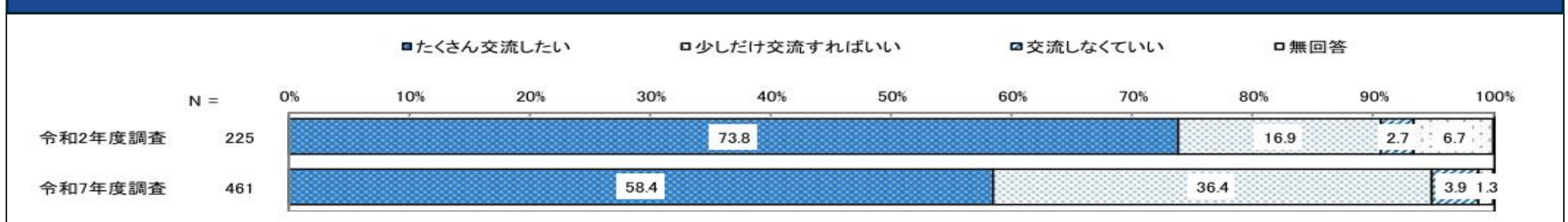
○日本人との**交流が日常化**した結果、近隣の日本人と**「親しく付き合っている」外国人が増加**し、適度な交流を望む声も増えている。

- ・日本人との交流状況 親しく付き合っている 17.8%⇒**30.2% (+12.4)**
- ・日本人との交流 交流したい（たくさん、少しだけ） 90.7%⇒**94.8% (+4.1)**

近所の日本人との交流状況



近所の日本人と交流することへの考え



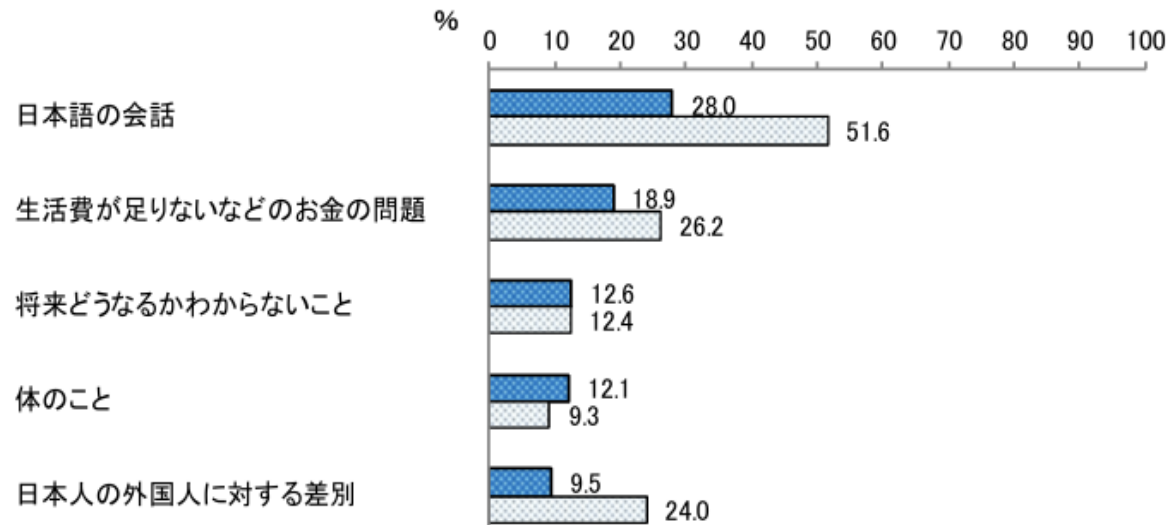
外国人県民アンケート結果 日本語①

○日本語の会話に困る外国人が大幅に減少し、勉強する必要を感じないレベルに達している。

- ・ 現在、困っていること 日本語の会話 51.6%⇒**28.0%** (△23.6)
- ・ 日本語を勉強しない理由 日本語ができるから 11.5%⇒**42.7%** (+31.2)

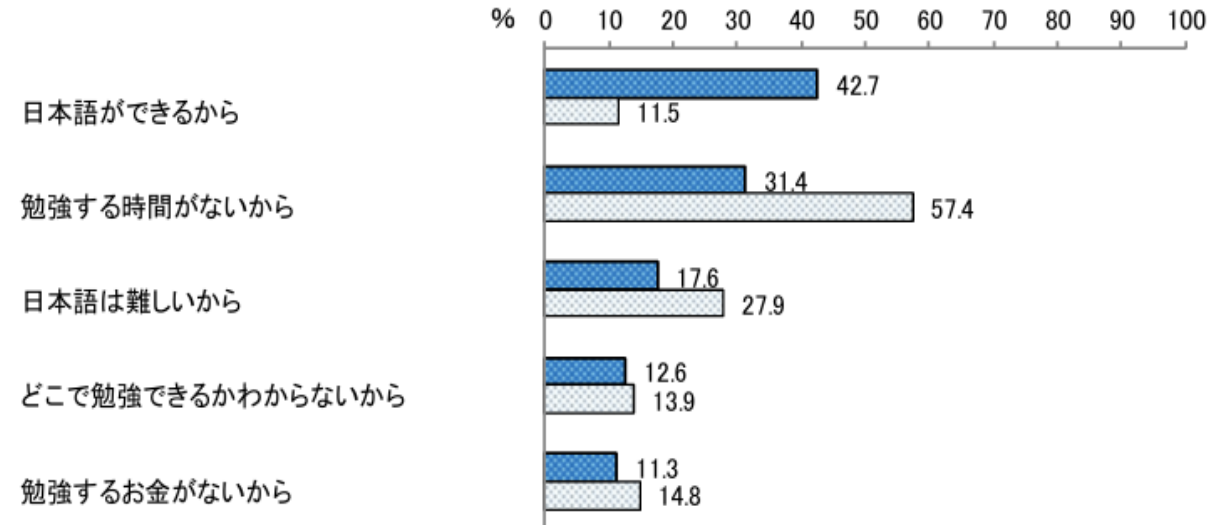
現在、困っていること

■ 令和7年度調査(N=461) □ 令和2年度調査(N=225)



日本語を勉強しない理由

■ 令和7年度調査(N=239) □ 令和2年度調査(N=122)

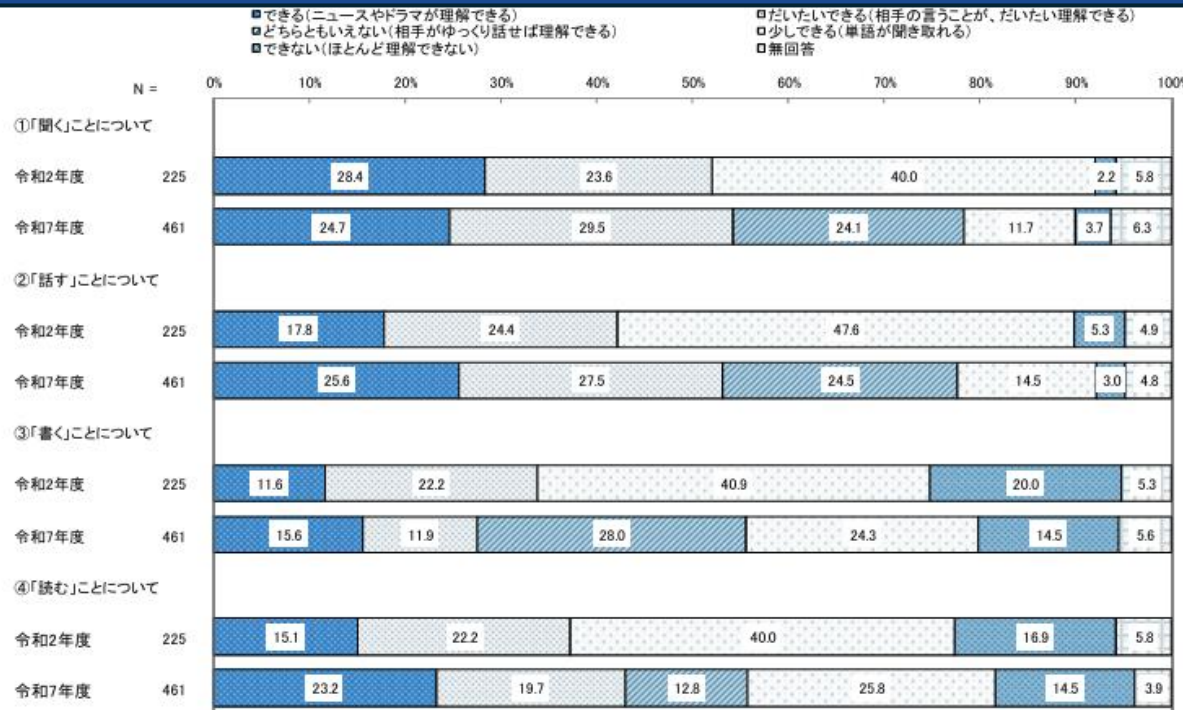


外国人県民アンケート結果 日本語②

○日本語能力は向上している一方、情報入手の場面では「日本語のみの情報で困る」といった課題が見られ、日本語能力のさらなる向上は不可欠。

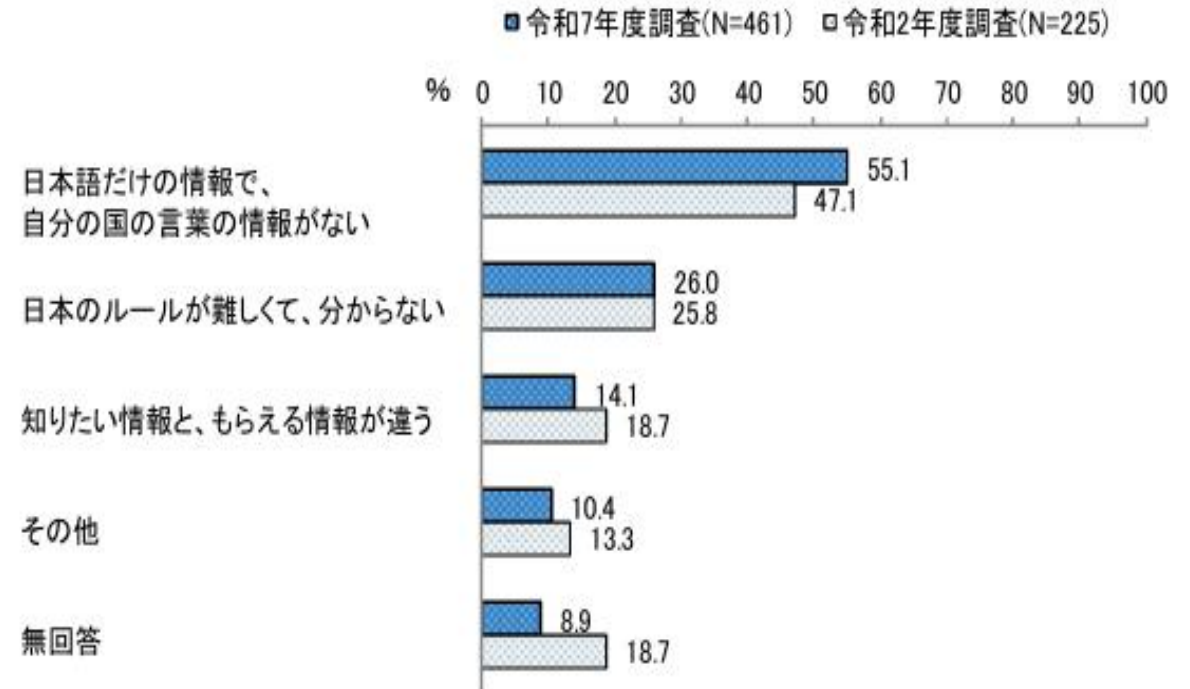
- ・日本語の能力（できる、だいたいできる） 話す 42.2%⇒**53.1%（+10.9）**
- ・情報の入手にあたり困ること 日本語だけの情報 47.1%⇒**55.1%（+8.0）**

日本語の能力



※令和7年度調査では習熟度について具体的な内容で調査しているが、経年比較のために令和2年度調査と統一
※令和2年度調査では中間選択肢がない4件法であった

情報の入手にあたって困っていること

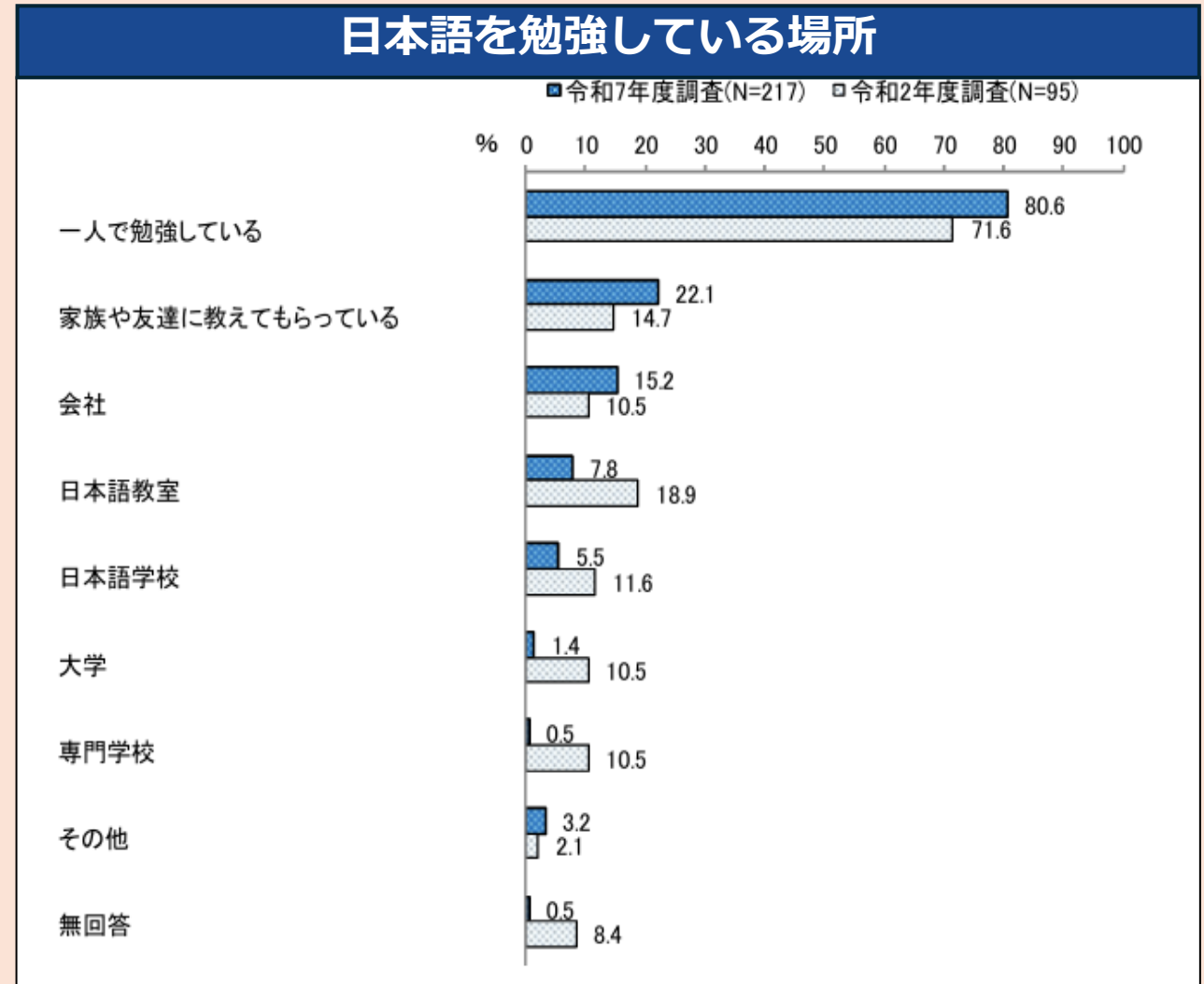


外国人県民アンケート結果 日本語③

○集団ではなく、**個人で日本語を学ぶスタイルへ移行**

日本語を勉強している場所

- ・ 一人で勉強している
71.6%⇒**80.6% (+9.0)**
- ・ 日本語教室
18.9%⇒**7.8% (△11.1)**
- ・ 専門学校
10.5%⇒**0.5% (△10.0)**

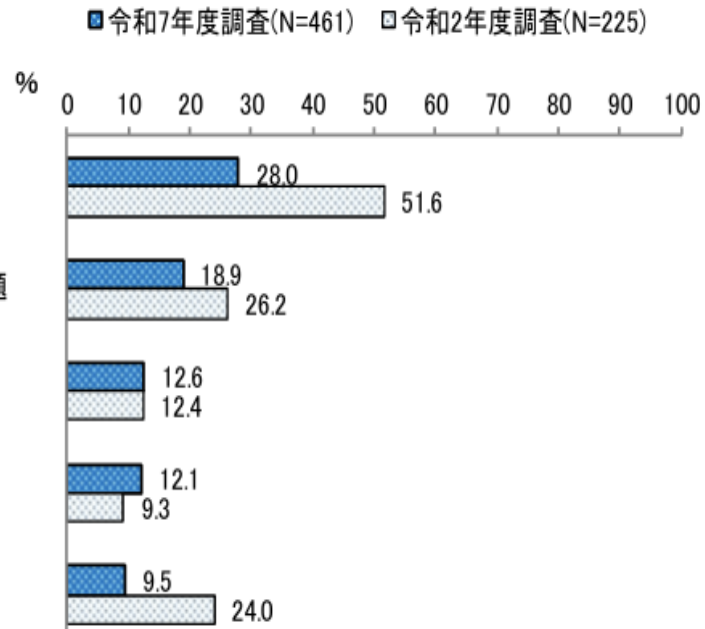


外国人県民アンケート結果 差別

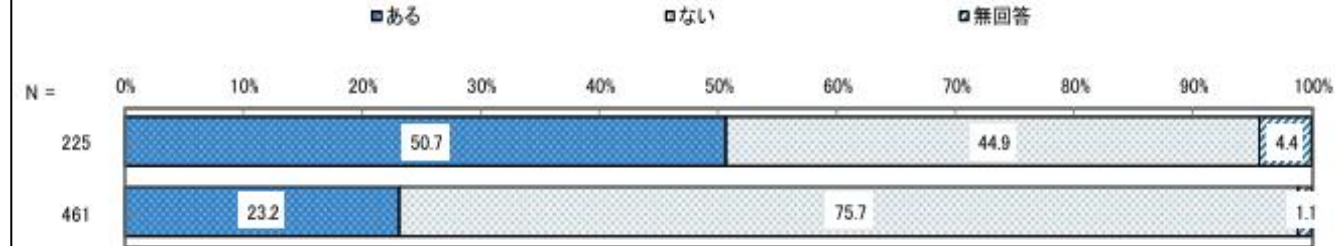
○差別を感じる外国人が大幅減少

- ・ 現在困っていること 日本人の外国人に対する差別 24.0%⇒**9.5% (△14.5)**
- ・ 差別の有無 差別されたことがない 44.9%⇒**75.7% (+30.8)**

現在、困っていること



差別の有無（上段R2、下段R7）



多文化共生・共創推進アンケート結果

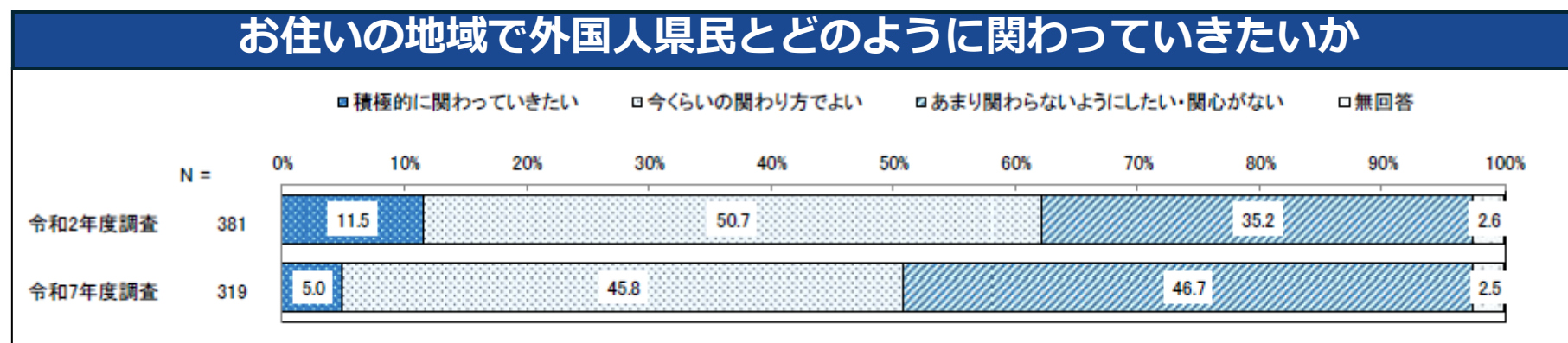
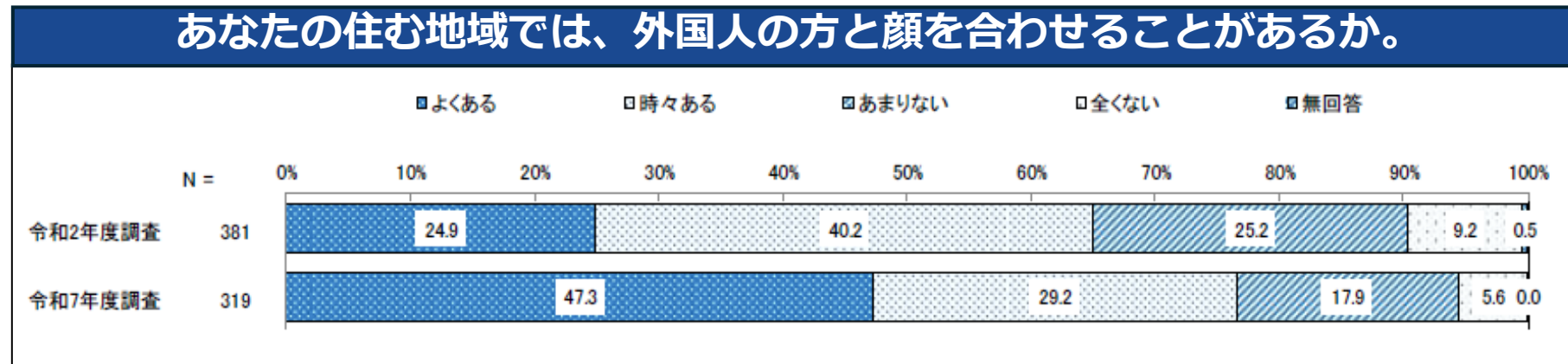
外国人との関わり

○物理的な接触機会は増えているが、**心理的距離は拡大**

・外国人と顔を合わせることにはあるか 24.9%⇒**47.3% (+22.4)**

・地域の外国人とどのように関わりたいか

あまり関わらないようにしたい・関心がない 35.2%⇒**46.7% (+11.5)**



多文化共生・共創推進アンケート結果

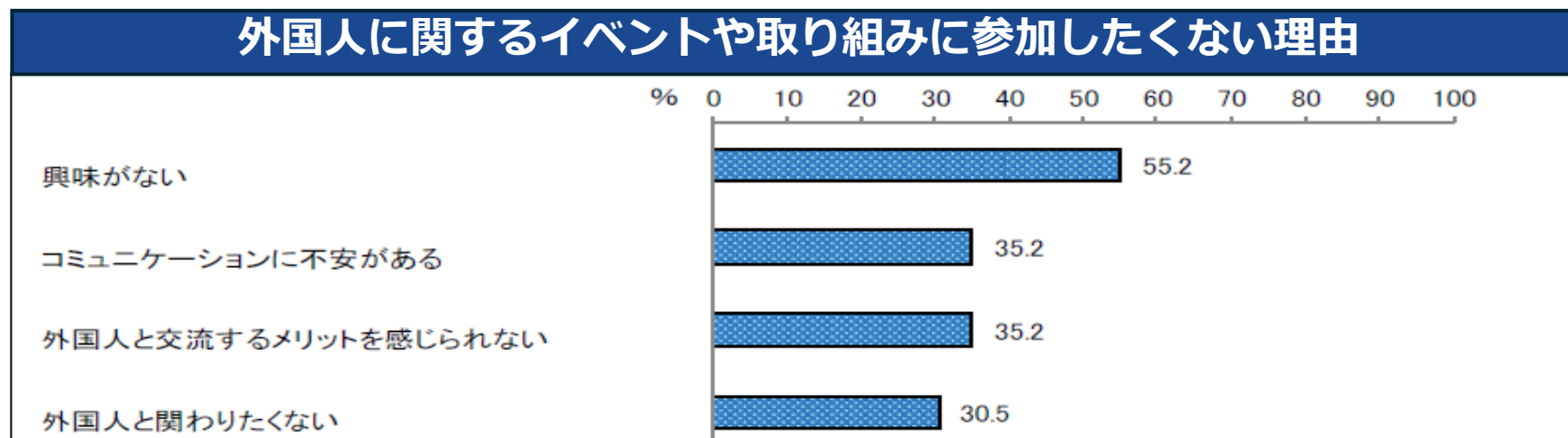
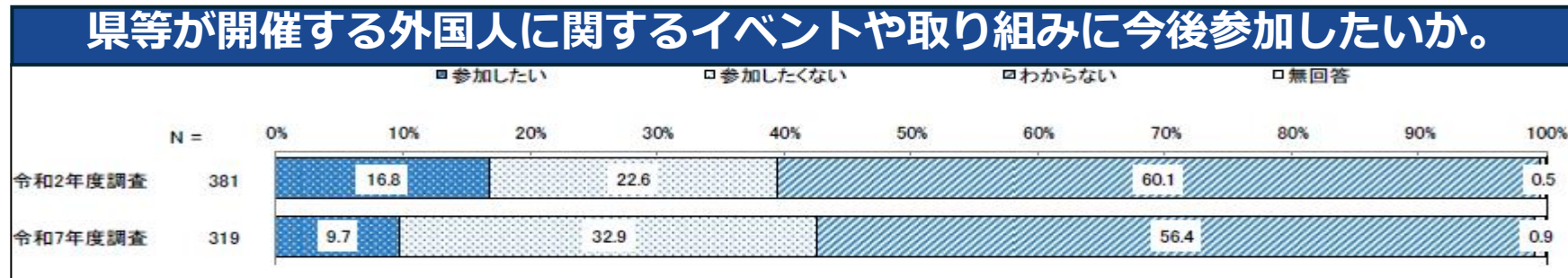
外国人との交流イベント

○交流イベント型施策が**日本人側のニーズや意識と乖離**

・県等の外国人交流イベントに 参加したくない 22.6%⇒**32.9% (+10.3)**

・参加したくない理由

メリットが感じられない 35.2%、外国人と関わりたくない 30.5%



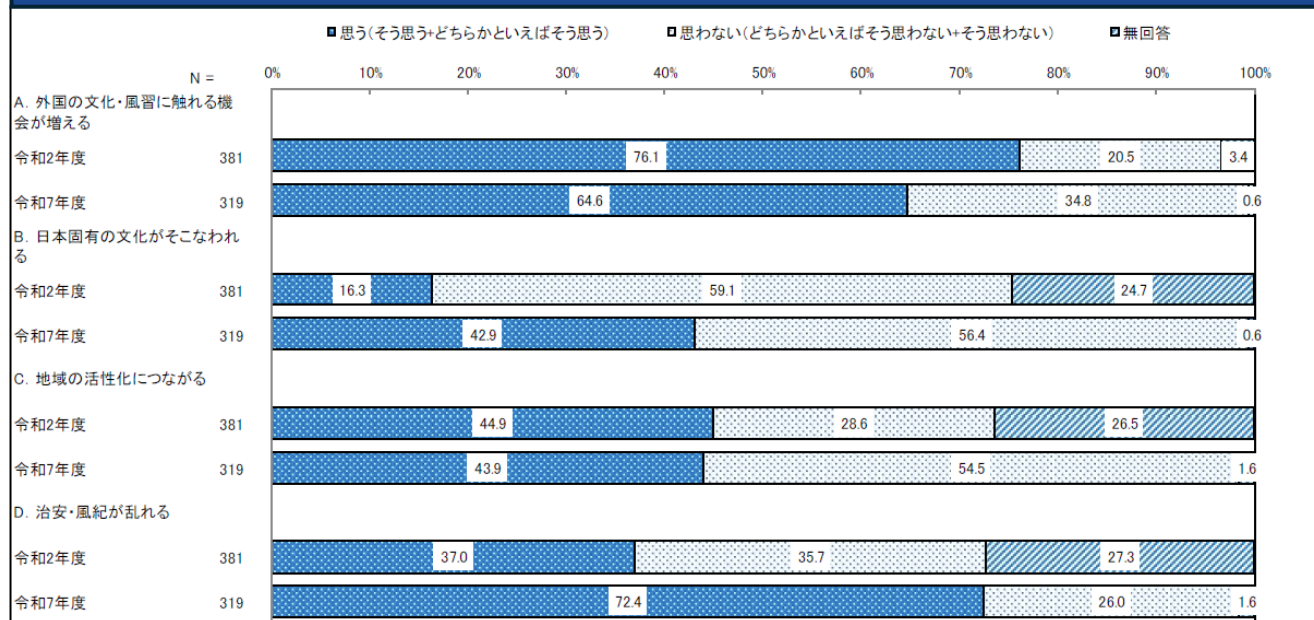
多文化共生・共創推進アンケート結果

外国人が増えることに対する意識

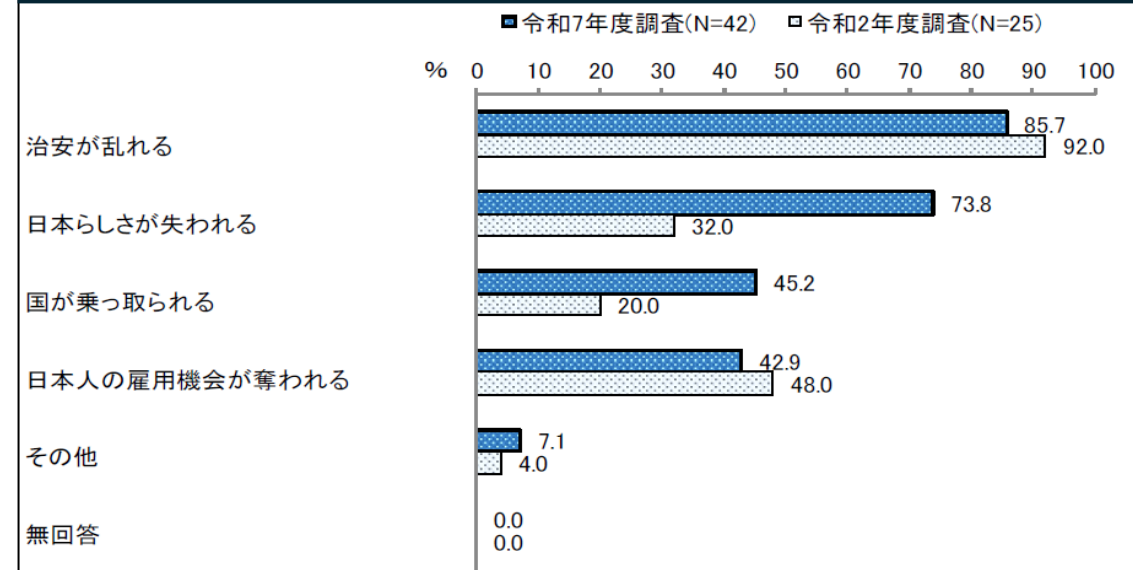
○外国人受入れに対する**漠然とした不安が強まる**

- ・日本に外国人が増えることに 賛成 8.2% **反対 27.9%**
- ・外国人が増えると 治安・風紀が乱れる 37.0%⇒**72.4% (+35.4)**
- ・外国人が地域社会で活躍することが好ましくない理由
日本らしさが失われる 32.0%⇒**73.8% (+41.8)**

外国人が増えることに対する認識



外国人県民が地域社会で活躍することが好ましくない理由



多文化共生・共創推進アンケート結果

外国人に求めるもの

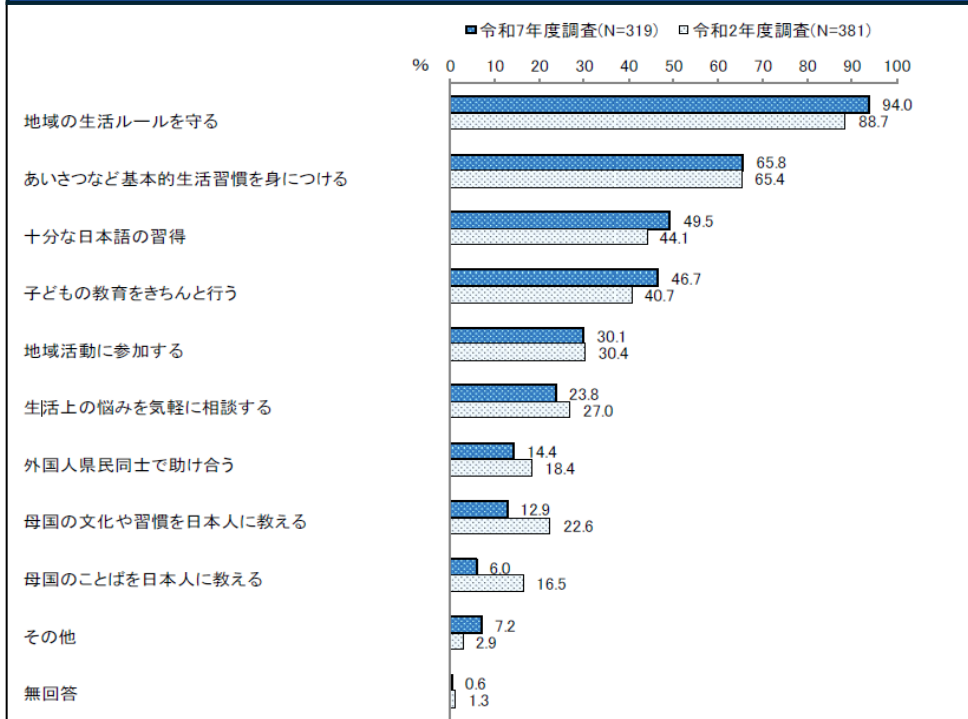
○双方向の文化理解・対話が弱まり、**外国人側の適応・遵守**を求める

・外国人県民にしてほしいこと

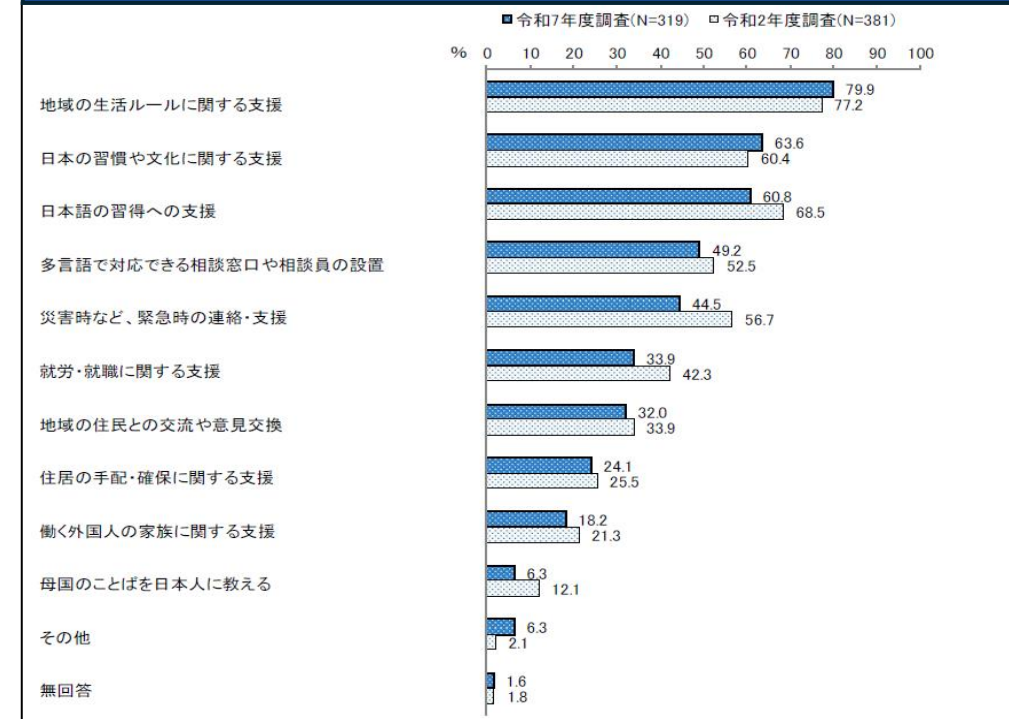
地域のルールを守る 88.7%⇒**94.0% (+5.3)**

母国語を日本人に教える 16.5%⇒**6.0% (△10.5)**

外国人県民にしてほしいこと



群馬県で取り組むべきこと



多文化共生・共創推進アンケート結果 やさしい日本語

○日本語教育推進に関する法律及び「やさしい日本語」の認知度は低い

- ・日本語教育推進に関する法律を知らない **77.7%**
- ・「やさしい日本語」について 詳細は知らない **21.0%** わからない **68.3%**

